

城山学園だより



令和6年2月13日発行

No.12

学校教育目標

自ら考え学ぶ子 心豊かな子 たくましい子

目指す学校像

「学び合い 笑顔あふれる学校」

「1月は行き、2月は逃げ、3月は去る」と言われるように、年度末の3ヶ月は特に時間の経過が早いといわれます。これは小中学校でも同様で、子ども達も教員も年度のまとめと新年度への準備に取り組んでおります。

城山学園ではこの一年間の職員研修において、授業中や普段の子ども達の表情や気配からその変化を読み取る力をつけることを目標に、お互いの授業見学と情報交換などを行い、観察眼を磨いてまいりました。観察眼を磨くことは教師にとって一生をかけるほどの価値のあることであり、すぐに上達するものでもありません。今後も継続して取り組んでいくとともに、忙しい3学期だからこそ、注意深く子ども達を見ていきたいと考えています。ご家庭や地域におかれましても、何かとあわたましい時期と思いますが、このような時こそ子供の顔をしっかりとみて、日頃の生活を送っていただきたいと考えています。

8年生修学旅行（京都・奈良）の様子

今年も8年生が京都奈良に修学旅行に行ってきました。当日は記録的な寒波の襲来に伴い、新幹線が1時間遅延するトラブルがあったものの、充実した旅行となりました。



東大寺で大仏の大きさに、京都の寺社仏閣の華麗さに、日本文化のすばらしさを感じてもらえたものと思います。

ました。年間で一番観光客のいない時期である冬にもかかわらず人ごみにもまれてしまいましたが、これも8年生にとっては良い思い出となることと思います。



この経験を活かし、学園の最上級生である9年生にふさわしい学年になってくれるものと期待しています。



現地では予想以上に外国人旅行者が多く、中学生がゆっくり見学できない場面も見られ



1月の学校の様子

○平和記念講演会

高坂にある「埼玉県平和記念資料館」の学芸員さんをお招きし、坂戸市主催の平和記念講演会が、中学生を対象に開催されました。

平和講演に加え、第2次大戦当時の日用品や軍服の実物、爆弾のレプリカなどをお持ちいただき、実際に触れることもできました。戦争が遠い世界でのことではなく、身近に起こりえる可能性や、平和の尊さなどを感じてくれたものと思います。



○6年生校外学習（国会議事堂等）

小学校の社会科学習の仕上げとして、国会議事堂の見学を行いました。



教科書の写真やニュース映像で見る議場や委員会室を自分の目で見ることができました。

教科書の写真やニュース映像で見る議場や委員会室を自分の目で見る



若者の政治離れが進む現代ですが、今回の経験が自分たちの国の行く末や、民主主義に興味を持つことにつながってもらえることを期待します。

○避難訓練

元日の大地震の記憶も新しいこの時期に、3学期の避難訓練を実施することができました。坂戸西分署のご協力の元、教員は初期消火と通報訓練、児童生徒は煙中避難訓練を実施しました。「せっかくなので4年生以上は煙を大盛にしてください」と依頼したところ、期待以上の煙の量で体験できました。またとない良い体験をすることができました。（機械が新品で特別に煙の出が良かったそうです）



○けやき展（市内美術展）

市内の特別支援学級の児童生徒の作品を集めた美術展「けやき展」が坂戸市文化会館で開催されました。

城山学園からも作品が出展され、展示されていました。



○大谷グローブ

大谷翔平選手が全国の小学校にグローブを寄贈したと、スポーツニュース等でも取り上げられ、話題となりました。とうとう城山学園にもそのグローブが届きました。大小に加え、左利き用の合計3つのグローブです。



まず全校の児童生徒が見られるよう展示した後、貸し出しを行いキャッチボールができるようにしていきます。大谷選手、ありがとうございます。

○給食感謝朝会

いつもおいしい給食を作ってくださる調理員の皆さんに感謝する「給食感謝朝会」が開かれました。



各学年から感謝の言葉と共に手作りの記念品をお贈りしました。いつもおいしく、安心安全な給食をありがとうございます。

○龍の置物

学校応援団長の福井様から、今年の干支「辰」にちなんだオブジェを寄贈いただきました。体育館の入り口に展示していますので、来校いただいた際には、ぜひご覧ください。

